

第1回スライド説明会「須賀遺跡第7次」

平成30(2018)年5月19日(土)
 鈴鹿市考古博物館 講堂

所在地 鈴鹿市須賀一丁目1693番
 調査目的 宅地造成工事に伴う埋蔵文化財の記録保存
 調査期間 平成29年4月12日～平成29年7月21日
 調査面積 321.26㎡

1 遺跡の立地と周辺の遺跡



遺跡の位置と周辺の遺跡 (1/25,000)

2 過去の調査

- 第1次 古墳時代後期～飛鳥時代 土坑・溝・柱穴
- 範囲確認調査 古墳周溝・流路?→二彩小壺
- 第2次 弥生時代中期前葉環濠, 中世井戸
- 第3次 弥生後期包含層
- 第4次 弥生時代溝
- 第5次 弥生時代前期溝, 中期前葉大溝(環濠): 県内最大級の壺出土, 中期後葉方形周溝墓
- 第6次 弥生時代前期末～中期初頭方形周溝墓, 古墳時代後期溝(流路), 奈良時代竪穴住居
奈良時代～平安時代掘立柱建物・井戸・大溝



過去の調査区 (1/5,000)

3 検出された遺構

道路調査区

- 弥生時代 方形周溝墓 SX07119-周溝 SD0740・SD0753・SD0742
周溝 SD0775・SD07113
土壙墓(組合式箱形木棺墓) SX0724・SX0780・SX0787・SX07107

古墳時代後期～飛鳥時代

- 竪穴建物 SH0706
溝(流路) SD0770

奈良時代～平安時代

- 掘立柱建物 SB07114・SB0799
溝 SD0720
井戸 SE0769

東擁壁区

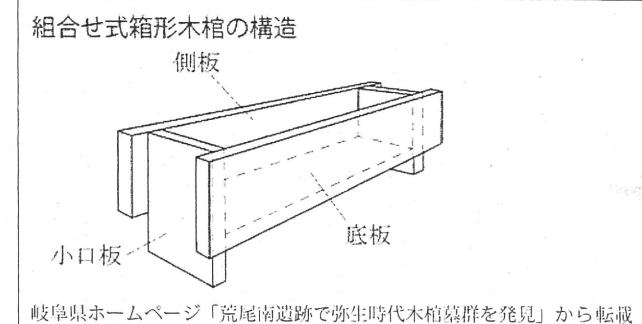
- 弥生時代 環濠 SD07121

西擁壁区

- 弥生時代 (推定) 方形周溝墓 - 周溝 SD07115・SD07118
(推定) 方形周溝墓 - 周溝 SD07116・SD07117

奈良時代～平安時代

- 掘立柱建物 SB07120



岐阜県ホームページ「荒尾南遺跡で弥生時代木棺墓群を発見」から転載

4 出土遺物

- 弥生時代 弥生土器(前期後葉～中期後葉), 磨製石斧, ヒスイ勾玉
- 古墳時代 須恵器・土師器・土玉
- 奈良時代～平安時代 須恵器・土師器・灰釉陶器・瓦・製塩土器
- 鎌倉時代 山茶碗

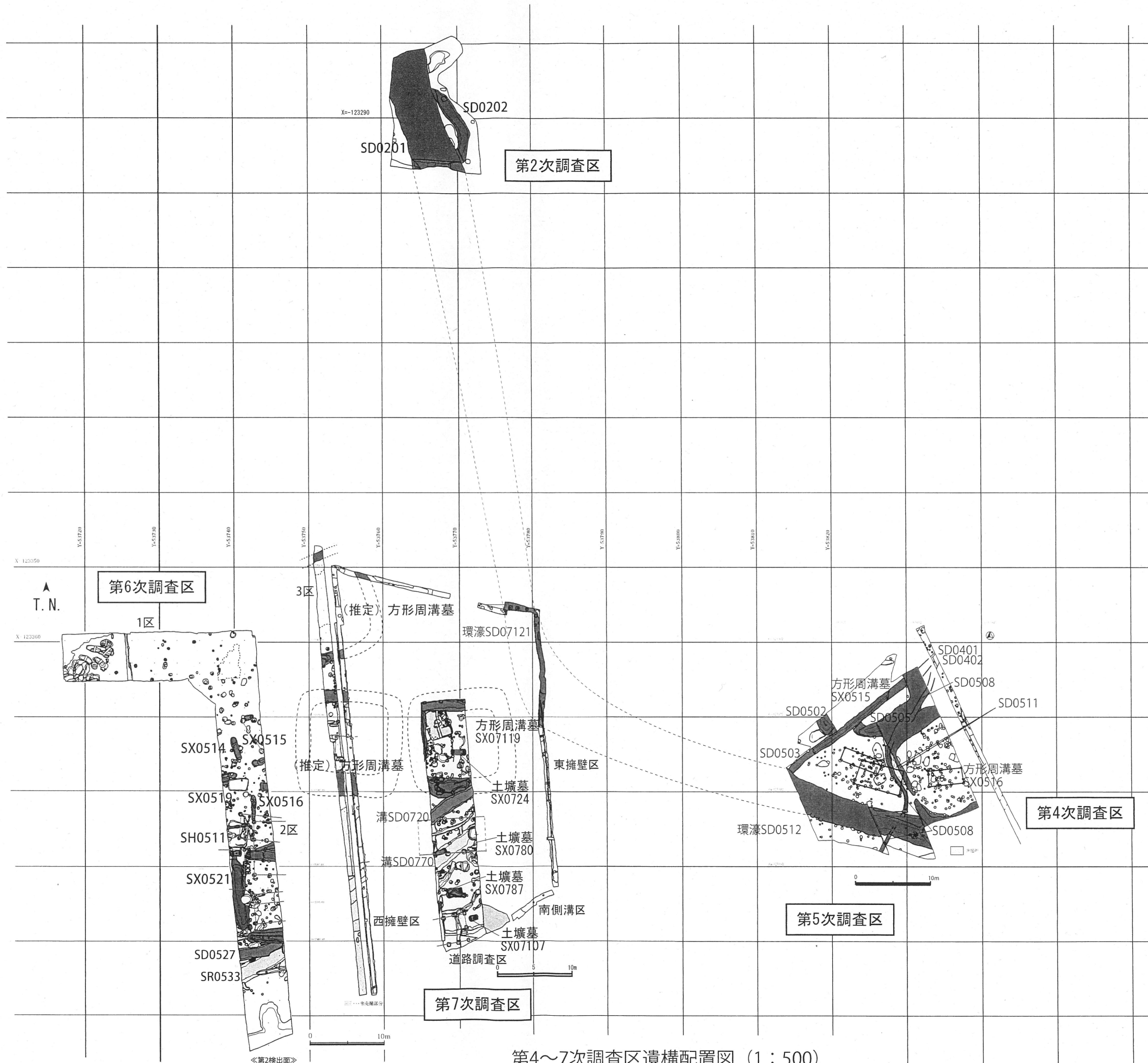
5 須賀遺跡第7次発掘調査の成果

弥生時代

- ①弥生時代前期後葉から中期前葉にかけての組合式箱形木棺墓群が確認された。
- ②第2次・第5次で確認された環濠のコーナー部分が確認され, 弥生時代中期前葉の集落の構造(特に墓域)が分かってきた。
- ③県内では数の少ないヒスイ製の勾玉(極小)が出土した。

奈良時代～平安時代

- ほぼ正方位を向いた掘立柱建物群が確認された。
- (古くから親王御領であり, 保安3(1122)年に神宮に寄進され「須加崎御厨」となった, 荘園に関連する遺構か?)



第4~7次調査区遺構配置図 (1:500)